

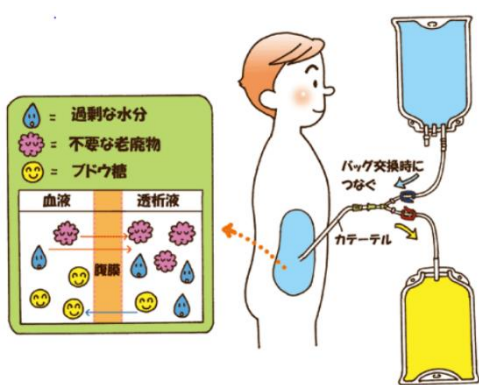
こんにちは **エスプリ訪問看護ステーション** です

生活と医療を結びつけ利用者と家族が望む在宅療養を共に思い描く

★ 在宅での腹膜透析 ★

腹膜透析は Peritoneal（腹膜）を使った Dialysis（透析）で「PD」と呼ばれます。

腹膜に囲まれた空間（腹腔）内に透析液を一定時間入れておくと、腹膜を介して血液中の老廃物や塩分、余分な水分などが腹腔内の透析液側に移動します。老廃物や水分などが透析液に十分に移行した時点で透析液を体外に取り出すことで、血液がきれいに浄化されます。



CAPD（連続携帯式腹膜透析）とは

朝・昼・夕方・就寝前など生活のリズムに合わせて、1日に3～5回透析液を約30分で交換します。

APD（自動腹膜透析）とは

主に寝ている時間を利用して透析液の交換を自動的に行います。学生、社会人などを中心に腹膜透析患者の約40%がこの方法で治療を行っています。

※十分な透析量を確保するために、夜間に加え昼間にも腹腔内に透析液を入れておく方法もあります（CCPD）。

最近の医療機器の進歩で、機械が音声で説明するので操作は分かりやすくなっています。しかし、透析液や機械の置き場は意外と結構な場所を要するのです。排液の処理も必要で、なかなか手間は掛かります。血液透析に比べ、自由度が高いというメリットはありますが、手間と空間の事を思えば、血液透析に通うほうが良いかも？と考えたりします。



エスプリ訪問看護ステーション

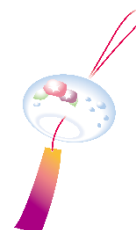
〒581-0884 八尾市恩智南町5丁目103-2

Tel 072-940-1006 Fax 072-940-1007

e-mail esprikaigo@gol.com



7/18より 〒581-0874 八尾市教興寺2-40 に移転します



QOL を大切に、その人らしい生き方を支え在宅での看取りも支えていきます
24時間連絡・対応体制をとっています